



坂東地域アグリ通信

令和8年1月23日
坂東地域農業改良普及センター 発行
Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

いちごマルシェが坂東清風高校生の農業研修を受け入れました

1月9日（金）に、坂東清風高校の2年生13名が、境町のいちごマルシェで農業の研修を行いました。研修では、経営者である尾崎夫妻より経営の説明を受け、イチゴハウスの見学、ジェラートの試食をさせていただきました。

尾崎さんは2015年に新規就農し、18aの連棟ハウスでイチゴを栽培しています。密植はせず完熟したイチゴを直売で販売していることが経営の特徴です。イチゴ栽培には、二酸化炭素発生装置やボイラーを導入しているほか、害虫防除のため天敵生物の導入や受粉のためのミツバチの導入なども行っています。また、規格外のイチゴは、冷凍保存してジェラート等の加工原料に活用するなど、6次産業化にも挑戦しています。

坂東清風高校の生徒から、「糖度はどれくらいか?」、「栽培品種として、とちおとめを選んだのはなぜか?」などの質問が多くあり、イチゴの栽培に興味を持つ機会となる有意義な研修となりました。生徒の中には就農希望者はもちろんのこと、農業以外の進路を希望する生徒にとっても、農業への興味を深める良いきっかけになりました。

また、この他にも11月10日（月）には、9戸の農業三士宅に1年生20名の農業体験を受け入れていただきました。尾崎さんをはじめ、受け入れてくださった皆様ありがとうございました。

普及センターでは今後も、若い世代が農業への関心を高められるよう、研修の場を提供してまいります。

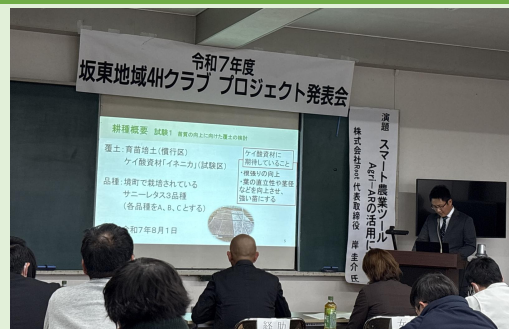


「令和7年度坂東地域4Hクラブ活動発表会」を開催しました

1月20日（火）に、県立農業大学校園芸部の講堂にて「令和7年度坂東地域4Hクラブ活動発表会」を開催しました。発表会では、各4Hクラブの代表者が、課題解決のプロジェクト活動の発表に加え、地域貢献の取組や先進地研修などの報告を行い、農業三士からコメントをいただきました。参加者からは「新規クラブ員の勧誘方法は?」、「栽培試験で施用したカルシウム資材は何を使っているのか?」など多くの質問があり、活発な発表会となりました。今後、さかい4Hクラブは、2月5日（木）に開催される「茨城県農業青年プロジェクト実績発表会」にて活動成果を発表します。

発表会に続き、株式会社Rootの代表取締役である岸圭介氏を講師に迎え、「スマート農業ツール Agri-ARの活用について」と題して講演が行われました。株式会社Rootは、農業とテクノロジーを融合させ、スマート農業の未来を切り開き新たな可能性を創出しており、アプリやAR（拡張現実）技術を活用した革新的なサービスを開発しています。講演では、Agri-ARの概要説明のほかに、4Hクラブ員が実際にAgri-ARを試用して、指で指定した長さの計測やシャインマスカットの模擬収穫などの体験を行いました。

参加したクラブ員からは「省力化の手段としてARを取り入れてみたい」、「ARにおける技術サポートがとても参考になった」などの感想が聞かれ、大変有意義な講演となりました。



活動発表会の様子



Agri-ARを試用する4Hクラブ員

染野氏が緑白綬有功章を受章しました

今年度、坂東市の染野実氏が緑白綬有功章（りょくはくじゅゆうこうしょう）を受章しました。この章は、明治27年から続く、農業において功績顕著な方や有益な発見をした方に贈られる章です。

茨城県坂東市で水稻・小麦を主力に大規模経営を行う有限会社ソメノグリーンファームの代表である染野氏は、約130haを管理し、44年の経験を持つ農業経営者です。法人化後、直売や契約販売を進め、米の鮮度を保持する独自包装「冬眠米」を開発して販路を拡大しました。

また、輸出米の取り組みでは(株)百笑市場を立ち上げ、アメリカを皮切りに輸出先を24か国へ拡大するなど地域のリーダーとして活躍しています。さらに、パン用小麦「ゆめかおり」では生産組織「茨城パン小麦栽培研究会」を設立し、副会长として栽培ルールや品質管理方法を確立し、高品質な小麦の安定供給体制を構築しました。

近年はドローンやほ場管理システムなどのスマート農業も積極的に導入し、栽培管理の効率化を進めています。加えて研修受け入れや海外研修支援など人材育成にも貢献し、地域農業の振興と生産者の意欲向上に大きく寄与してきました。

普及センターではこれからも、地域農業の発展と活躍する農業者のリーダーの育成を支援していきます。



茨城県知事表敬訪問時の様子
（左から3番目が染野実氏）

農作業安全に関する研修のご紹介



皆さんトラクターの危険性を
本当に理解してますか？



農林水産研修所つくば館水戸ほ場では、「自分は事故を起こさない」という思い込みや重大事故につながるヒヤリハットを減らすことを目的に農業機械の安全操作・点検・リスク管理を学ぶ研修を実施しています。

研修の主な内容

- 乗用型トラクターの安全運転研修、乗用型トラクターの事故と対策（講義）
- 乗用型トラクターの仕業点検、傾斜面・傾斜路の危険体験、コンバインやチェンソー等の基本操作
- 熱中症や作業環境に関する研修（オンライン）

など

以上の研修に加え、様々な研修が用意されています。
詳しい内容は、右の二次元バーコードから



2月の土壌診断実施日のお知らせ

2月は、10日（火）、25日（水）
の2回を予定しています。

- 個人の農家の方が対象です。
- 1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次回の診断となります。
- 受け付けは前日まで可能ですが**先着順**となりますので、お早めにお持ちください。電話等での**予約は行っておりません**。
- 1人あたり5点以内**の持ち込みをお願いします。
- 土は乾燥させてから、持ち込みをお願いします。

編集後記

あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いいたします。

家のハオルチアが一斉に花を咲かせるため、それぞれの花芽が少しずつ伸びてきています。今年は、交配を行いオリジナルのハオルチアを育成出来たらと考えています。（阿武）